

令和8年第2回大山町議会定例会一般質問

令和8年3月13日・16日・17日

通告順	議席 番号	氏 名	質 問 事 項
1	13	杉谷 洋一	1. 地域の活性化につながる観光振興は。
2	4	京力 久子	1. 本町の選挙日程を踏まえた投票環境の整備と主権者教育の推進について
3	9	池田 幸恵	1. 災害時における避難場所の環境整備は
4	8	加藤 紀之	1. 社会教育拠点施設基本計画（案）におけるサテライト拠点について
5	12	大森 正治	1. 行政サービスは小さいことから 2. ごみ問題を考える
6	7	島田 一恵	1. 御来屋地区における公衆トイレ整備について
7	1	浅田 龍太郎	1. 総合計画に掲げるデジタル技術活用の実行戦略について
8	10	大原 広巳	1. 未来の役場本庁はどこにすべきか 2. 日吉津村から皆生温泉へ橋が架けられないか
9	5	西本 憲人	1. 財政改革とハワイ渡航の優先順位について
10	14	近藤 大介	1. スキー場経営のあり方及び指定管理者選定のあり方について

令和8年2月17日

大山町議会議長 吉原 美智恵 様

議席番号 13番 大山町議会議員 杉谷 洋一



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 60 分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
1 地域の活性化につながる観光振興は。 本町の過疎化と少子高齢化は急速に進行し、地域社会の維持や経済の活性化に大きな影響を与えている。地域の持続的な活力を維持するには、交流人口の増大や地域間の交流が不可欠である。町内には全国的な観光資源が数多くあり、これを最大限活用することにより交流人口を増やし経済効果の拡大につなげる必要がある。 国立公園大山を始め、日本遺産の大山牛馬市、国史跡の妻木晩田遺跡・大山寺旧境内や所子伝統的建造物群保存地区、さらには、後醍醐天皇のゆかりの地など、他市町村が羨ましく思う全国的な観光資源が数多くある。また、大山火山よる肥沃な土壌で育った農産物や西日本最大級のブナ林に濾過された伏流水が、本町の豊かな海を形成し、おいしい海産物を育んでいる。 これらの数多くの観光資源を、お客さまのニーズに沿った観光ポイントの設定と受け入れ環境の整備など、総合的な観光振興が必要と考える。そこで町長に伺います。 ①大山や県立むきばんだ史跡公園など、町内の主要な観光地への日帰りと宿泊の観光客数の過去の推移と現状は。 ②大山は西日本最大級のブナ林を中心とした豊かな四季折々の自然や、開山 1300 年の長い歴史と文化があり、国内や海外に対して、観光客のニーズを取り入れた効果的な広報戦略が必要で、その取り組みは。 また、地元や周辺市町村への広報は。さらに、旧中山、旧名和、旧大山町で埋もれている資源を発掘し磨きあげ、新しい観光ポイントを設定しては。	町長

(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。



質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
③大山町のホームページで、大山の自然や歴史と文化などの素晴らしさを動画などで配信し、交流人口を増やし、地域の活性化を図りながら、住んでみたいと思われる町にするための取り組みは。 ④大山町には、他市町村に類を見ない数多くの観光資源があり、これらを最大限に活用する必要があると考える。最近、スキー客が減少傾向にあり、新たに自然を満喫するスノーシューを活用した取り組みはどうか。 また、大山の観光客数を増やすには、継続的で地道な対策が必要である。特に、誘客数の増には、グリーンシーズンに対する取り組みが不可欠であり、これらの将来を見据えた対策は。 ⑤本町は農水産業と観光業の町であり、大山火山による肥沃な土地で育った農産物や海から湧き出る大山のおいしい伏流水に育まれた海産物を、点と点ではなく、一体化した太い動線で結ぶことによる滞在型の観光振興は。 ⑥大山町の観光ボランティアガイドは、三町合併時に新町によって、本町全体の観光について「ボランティア精神とおもてなしの心」で案内をする目的で要請結成され、観光の総合ボランティアガイドとして現在に至っている。 宿泊施設や土産物店の付加価値をあげるため、大山寺を主として自然観察や歴史と文化など、お客様に対し総合的な観光ガイドを安価で実施し、誘客増やリピーター増になり喜ばれていたが、コロナ以降、京阪神などからの観光バスが燃料費増や運転手の勤務時間改善などで減少し、団体のガイド数が減ってきているので、広報強化や観光業者などへの対策は。	

(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
⑦町が主体となり、大山牛馬市に絡め「ドリームカーフェスタ」などのイベントを行っているが、大山が日本遺産指定時に、大山町と日本海新聞社が中心となり、「歴史探訪ウォーク」が開催され、ボランティアガイドが無料で案内し、約 500 人の参加者で旅館や土産物店など、大山寺全体が賑わっていたので、このような大山の長い歴史を主体とする取り組みも再開しては。 さらに、町主催のそれぞれの観光イベントにボランティアガイドを活用し、無料で来訪者に対して案内し、誘客増と観光 PR につなげては。 ⑧大山登山は、韓国で高齢者を含めて人気があるが、それに対する取り組みや、国際クルーズ船の観光スポットとして、大山を誘致しては。 また、大山町全体の名所巡りの観光ルートの設定は。 さらに、大山寺や阿弥陀堂の灯籠など、地震などで倒壊が見受けられ、早急な修復が必要であり、対策は。	

(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

令和8年2月21日

大山町議会議長 吉原 美智恵 様

議席番号 4 番 大山町議会議員 京力 久子



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 50 分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
1 本町の選挙日程を踏まえた投票環境の整備と主権者教育の推進について 本町の町長選挙及び町議会議員選挙は四月中旬に投開票が行われるため、進学・就職等で3月末に町外へ転出する若者や新生活の準備で慌ただしい有権者にとって投票機会の確保が課題だと思われる。また今回のような急な解散による衆議院選挙が実施された。こうした状況をふまえ、誰もが投票しやすい環境整備と将来の有権者を育てる主権者教育の充実が重要であると考えている。本町では過去に中学生議会が開催され生徒の声が反映された実績もあることから、これらを生かした取り組みについて伺う。 1, 本町の選挙日程を踏まえた投票率向上策について 町長選挙及び町議会選挙が4月中旬に行われる本町において、3月末の転出者や新生活準備中の有権者への対応をどのように認識しているか。また、期日前投票の周知強化や投票機会の確保など具体的な対策を講じる考えはないか。 2, マイナンバーカードを活用した不在者投票の円滑化について 転出後もふるさとの選挙に参加しやすくなるため、不在者投票のオンライン請求などのデジタル化は有効と考える。本町の実情を踏まえ、導入に向けた研究・検討を進める考えはないか。 3, 中学生に対する主権者教育について 高校のない本町においては、中学校段階での主権者教育が極めて重要である。現在の取り組み状況と課題について教育長に伺う。	選挙管理委員長 教育長



(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
4、投票済証明書の活用について 投票済証明書を商工会や地元事業者と連携して活用することは、投票率向上と地域活性化の両面から有効と考える。本町として関係団体と協議・研究する考えはないか。	

令和 8 年 2 月 24 日

大山町議会議長 吉原 美智恵 様

議席番号 9 番 大山町議会議員

池田 幸恵



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間

60 分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
1、 災害時における避難場所の環境整備は 令和 8 年 1 月 6 日に、県内では震度 5 強の大きな地震が起きました。災害は予想ができるわけではありません。だからこそ日ごろの備えが大切だということで、災害時における本町の環境整備について確認をしたいと思います。 本町では既存の避難施設を「指定緊急避難場所」「指定避難所」として災害の種類別（風水害、地震・津波）ごとに指定をされています。 そこで以下のことを問います。 ① 町内 10 カ所ある福祉避難所へ移動は、誰が判断するのか。 また、各福祉避難所において受け入れ人数に制限があるが、判断基準は整備されているのか。 ② 妊婦や乳幼児を抱える家族が安心して避難できる避難場所の整備は。 ③ 神経発達症を持つ子どもたちが安心して避難できる避難場所の整備は。 ④ 町内に在住の外国人が安心して避難できる環境整備は。 ⑤ 最近、新聞やニュースでよく耳にする、ペットと一緒に避難する「同行避難」、「同伴避難」など避難場所の整備は。 また、本町では基本的なルール決めはできているのか。 ⑥ 災害時における町内の有資格者（保育士、看護師、介護福祉士、防災士や日赤特殊奉仕団）など、住民や民間事業者との連携は。	町長・教育長



(注)的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

令和 8年 3月 2日

大山町議会議員 吉原 美智恵 様

議席番号 8番 大山町議会議員 加藤紀之



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 60分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
1. 社会教育拠点施設基本計画（案）におけるサテライト拠点について 現在、計画を策定中である社会教育拠点施設基本計画（案）では、複数案の中から旧町ごとに公民館のメイン施設を計3館、旧小学校区ごとにサテライト拠点を7から10館を設置する案が有力視されている。サテライト拠点には、各地区で活動中の地域自主組織を充てる計画で、今は各組織への説明会が行われているようだ。 メイン3館は理解出来るが、サテライト拠点についてはさまざまな点で疑問を抱かざるを得ないし、地域自主組織の関係者からも心配の声を聞いている。 そこで、以下の点について説明いただきたい。 ①サテライト拠点という概念が出た経緯は。 ②計画内に位置づける手順として、まずは自主組織に合意を得るべきではないか。 ③自主組織がサテライト拠点となる場合、何が求められるのか。現在の活動とどう変わるのか。 ④メイン施設（拠点公民館）は社会教育法に基づく社会教育施設だが、サテライト拠点はどのような位置づけになるか。	町長



(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

令和8年3月3日

大山町議会議員 吉原美智恵 様

議席番号 12番 大山町議会議員 大森正治



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 60分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
1. 行政サービスは小さいことから 町の行政サービスとは、町民の生活向上・福祉増進のために提供する公共サービスと規定できる。それは、ライフライン、福祉・医療、教育、産業等々、多岐にわたっている。具体的に言えば、役場の各課の業務すべてが行政サービスである。その業務内容すべてが町民の生活向上・福祉増進に繋がっており、業務内容の重さに軽重はないと考えるが、あえて、軽重の差があると考えてみるならば、今回、問題提起する二つの事例は軽い内容で重要なことではないと言えるかもしれない。 しかし、軽いからと言って、これまで行われていた事を突然に中止したり変更したりすることは、町民と町行政の間に亀裂を生むことにもなる。中止や変更する場合には、主権者である町民の理解と納得が前提である。 そこで、行政サービスの在り方について、二つの事例から考えてみたい。 (1) 集落の総会資料の印刷や行政関係団体の資料の印刷は、これまで行政サービスの範囲内としてやっていたと考えるが、この度、範囲外にしたのはなぜか。 また、従来通り印刷を行政サービスの範囲内に戻すよう見直しをしないか。 (2) 「広報だいせん」への職員名簿掲載が昨年度から課長のみに変更されたが、その理由はなぜか。 また、以前のように全職員を掲載するよう見直しをしないか。	町長



(注) 的確な答弁がえられるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。
 質問の相手は、町長、教育長、農業委員長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
2. ごみ問題を考える 西部広域行政管理組合が進める大型ごみ処理施設は、2032（令和14）年の稼働を目標として進められている。難航していた可燃ごみ処理施設の用地選定が、彦名地区の同意によって可能になったとの報道があった。これによって、施設建設が進捗していくものと思われるが、一方、昨今の物価高騰や資材不足などの社会情勢によって、計画通りに進まないことも予想される。 果たして、何百億円もかけて、大型のごみ処理施設を造る必要があるのかという議論もある。可燃ごみ処理施設の場合、人口減少が進む状況の中ではごみの減量化とリサイクルなどによって、既存の施設を延命・長寿命化させることが可能ではないだろうか。 ところで、ごみ問題はCO₂による地球温暖化、それによる豪雨、豪雪、猛暑、大型台風などの気候変動やマイクロプラスチックによる海洋汚染などを引き起こしている。ごみ問題の解決は、ごみの減量とりわけ燃やすごみの減量が喫緊の課題である。そのための3Rは常識となっている。 ところが、4月から変更になる大山町のごみの出し方には、燃やすごみの減量や3Rに逆行する部分がある。 そこで、次の点について伺う。 （1）西部広域行政による大型ごみ処理施設の進捗状況と今後の計画はどうなっているか。 （2）大型ごみ処理場が建設された場合、建設費と維持管理費の大山町の年間負担金は直近のデータから試算するといくらになるか。 （3）名和クリーンセンターを延命措置しながら使い続けた場合、年間の維持管理費を試算するといくらになるか。 （4）ごみの分別、出し方の変更その① 色付きの発泡スチロールをリサイクルに回さないで、燃えるごみとして分別するようになったのはなぜか。 （5）ごみの分別、出し方の変更その② 紙製容器包装の出し方について、ポリ袋に入れて出すことを取りやめたのはなぜか。	町長

（注）的確な答弁がえられるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。
 質問の相手は、町長、教育長、農業委員長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

令和 8 年 3 月 3 日

大山町議会議長 吉原 美智恵 様

議席番号 7 番 大山町議会議員 島田一恵



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 50 分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
1、御来屋地区における公衆トイレ整備について 御来屋地区は本町の歴史と海の文化を象徴する地域であり、近年は散策者や観光客の往来も見られる。 名和駅および名和公園にはトイレが設置されているが、町中からは登坂を伴う距離があり、高齢者や来訪者にとって必ずしも利用しやすい環境とは言い難い。 また本町は津波災害警戒区域でもあり、防災の観点からも町中における生活インフラの整備は重要と考える。 住民や来訪者からの声も踏まえ、町としての方針を問います。 1、 御来屋地区を町としてどのような地域資源として位置づけているか 2、 町中に常設トイレがない現状をどのように認識しているか 3、 防災・観光・住民生活の観点から、小規模でも常設トイレを整備する考えはあるか 4、 国・県補助制度や民間連携による整備の可能性について、検討状況はどうか	町長



(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

令和 8 年 3 月 3 日

大山町議会議長 吉原 美智恵 様

議席番号 1 番 大山町議会議員 浅田 龍太郎

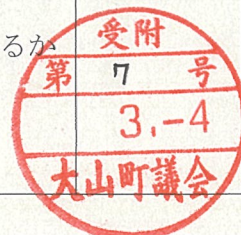


一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 60 分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
1, 総合計画に掲げるデジタル技術活用の実行戦略について 現在議案として示されている総合計画基本計画において、「デジタル技術の活用推進」が掲げられている。 窓口業務の遠隔化・ワンストップ化、書かない窓口の推進、ガバメントクラウドへの移行、RPA の活用、企画立案業務における AI 技術の有効活用などが示され、令和 8 年度一般会計予算にも関連経費が計上されていることから、本町におけるデジタル技術活用は実行段階に入りつつあるものと理解している。 これらの取り組みを理念にとどめることなく、持続可能な行政運営につなげるための具体的な実行戦略について問う。 ①総合計画に掲げる「デジタル技術の活用推進」の目的を本町としてどのように位置付けているか。また、なぜ今この取り組みを強化する必要があると考えているか ②窓口業務の遠隔化・ワンストップ化・書かない窓口の推進について、具体的な工程及び導入スケジュールはどのように想定しているか ③ガバメントクラウド移行及び RPA 活用について、優先順位及び段階的な展開方針をどのように整理しているか ④総合計画に示されている「企画立案業務における AI 技術の有効活用」とは、具体的にどのような業務を想定しているか ⑤AI 技術活用にあたり、情報管理や利用範囲を定めるガイドラインの整備状況及び策定期間は ⑥これらの取り組みにおける費用対効果をどのような指標で測定し、住民サービス向上及び業務効率化をどのように検証していくのか ⑦デジタル技術活用を推進するための担当部署及び責任体制はどのように構築しているか	町長



(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

令和8年3月4日

大山町議会議長 吉原 美智恵 様

議席番号 10番 大山町議会議員 大原 広巳



一般質問通告書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 60分)

質問事項と要旨	質問の相手
1 未来の役場本庁はどこにすべきか 10年から15年先の町の中心をどこに置くべきか、機能も含めて今から考えなければならないと思うが町長の考えを問う。 ① 本庁はどこに設置すべきか。名和地区が難しければ大山支所周辺も検討すべきではないか。インターチェンジ周辺の開発や人口動態を考えると大山インター周辺を最優先するべきでは。 ② 各課を一カ所に集約すべきではないか。 ③ 役場行政以外の防災や公民館、図書館、保育施設など交流拠点も併設できないか。 ④ 公民館の再整備事業と、本庁の整備事業は連動して考えるべきではないか。	町長
2 日吉津村から皆生温泉へ橋が架けられないか 災害時の移動やサイクルロードの整備も考え、過去に断念した計画を日吉津村と協力して、米子市や県、国に整備を要望すべきと思うが、町長の考えを問う。 ① 過去の断念した経緯は。 ② 米子道延長計画の中で、この話は出ていないか。 ③ 多くの町民が米子市と行き来している。大山町から旗を振ってほしいがどうか。	町長



(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

令和 8 年 3 月 4 日

大山町議会議長 吉原 美智恵 様

議席番号 5 番 大山町議会議員 西本 憲人



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 60 分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
1. 財政改革とハワイ渡航の優先順位について 本町の令和 8 年度当初予算ですが、財政健全化を意識して、いろいろな事業を見直し、削減も行った予算になっていると思います。 その一方で、ハワイへの渡航予算も計上されています。 見直しをすること自体は必要なことだと思います。ただ、区長さんの総会資料の印刷ができなくなる一方で、ハワイに行く予算がついている。このことを町民の皆さんがどう受け止めるのか、私は少し気になっています。 特に、総会資料の印刷支援の廃止については、財政的な効果はそれほど大きくないのではないかとと思われる一方で、地域を支えている区長さん方への心理的な影響は小さくないという声もあります。実際、初区長会でも複数のご意見が出たと聞いています。 私はここで、ハワイに行くことが良いとか悪いとかを言いたいわけではありません。ただ、今回の予算全体の中での「優先順位」の考え方をお聞きしたいと思っています。 こうした状況を踏まえ、次の点について問います。 1. 優先順位について 今回の予算編成で、「これは守る」「これは見直す」と判断された基準は何だったのでしょうか。。 2. 集落の総会資料の印刷支援廃止について 年間でどのくらいの削減額を見込んでいるのか。また、区長さんや町民の声はどのように把握されているのか、お聞かせください。	町長 教育長

(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。



質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
3. ハワイ渡航について 今回の渡航の目的は何か。 事前に、こういったテーマで協議する想定なのか、お示してください。 4. 説明責任と理解について 町民に直接関わる支援を見直す一方で、ハワイ渡航を行うという判断を、町民の皆さんにどのように説明されるのか。町長のお考えをお聞きます。	

(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

令和8年3月4日

大山町議会議長 吉原 美智恵 様

14番 大山町議会議員 近藤 大介



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 60 分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
1. スキー場経営のあり方及び指定管理者選定のあり方について 本町のスキー場は、観光振興・地域経済・雇用の面で重要な役割を担う。町が所有する中の原スキー場に加え、この度、民間所有だった豪円山・上の原・大山国際スキー場を新たに取得した。スキー人口減少や気候変動、財政制約が進む中で、持続可能な経営体制の確立はこれまで以上に重要で、喫緊の課題である。 そこで、以下について町の見解を問う。 ・スキー場経営の基本方針について (1)町として、スキー場を「収益事業」「観光振興政策」「地域維持政策」のいずれに重きを置いて位置付けているのか。 ・このたび作成した中長期計画について (1)90億円の投資計画があるが、財政的な裏付けはあるか。気候変動リスク、利用者減少リスクを踏まえた内容になっているのか。 ・指定管理者制度の運用について (1)年度内に業者選定に至らず、再公募になった原因は。 (2)町が中長期的に多額の設備投資をすることを前提に、応募を募っている。8年度予算書には債務負担行為もないが、公正な業者選定に支障はないか。	町長



(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。